

私が市長だったら...



8月4日、市内の6つの中学校の代表生徒12人と市長や市議会議長など市幹部5人が参加して「鳥羽の未来を語る会」が、市長室で開かれました。

語る会は、鳥羽の未来を担う中学生たちと話し合い、生徒の意見やアイデアを市の施策に取り入れようと、今回初めて企画されました。

生徒のみなさんは、「私が好きな鳥羽」「こんな鳥羽に住みたい」「私が市長だったら」のテーマに沿って発表し、「市長になったら、市出身の実業家の協力を得て日本にはないテーマパークを作るなど大きな事業を誘致したい」という提案や離島架橋についての意見などが出されました。

観光客を笑顔でお出迎え



NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと市が実施する鳥羽駅ボランティアガイド(駅ボラ)が、今年もお盆期間の8月13日～15日に行われました。

駅ボラは、鳥羽駅を利用する観光客のかたに観光案内をしたり、車いすやベビーカーの無料貸し出しなどを行う活動です。今回は、初参加10人を含む30人のガイドのみなさんが、観光客の質問に丁寧に答えたり、ベビーカーを貸し出したりと、心のこもった対応で観光客のかたに喜ばれていました。

まちの話題 18号

ポケモンがいっぱいの夏祭り!



© Pokémon/ Nintendo.

8月2日～10日まで、鳥羽マリパークなどで「ビバ! VIVA! 遊び場とば」が開催され、縁日の再現やスタンプウォーク、ステージイベントなどが行われました。これは、鳥羽元気再生事業推進協議会が国の補助事業として実施したもので、この中で行われた「ポケモンセンターなつまつりin鳥羽」では、観光客や市内から訪れた親子連れでにぎわっていました。

子どもたちは、縁日コーナーでゲームをしたり、会場に現れたピカチュウと握手や記念撮影をしたりして、夏休みの楽しいひとときを過ごしていました。

「浜辺の店 潮波(サッパ)」開設



7月18日、神島町に海産物販売施設「浜辺の店 潮波(サッパ)」がオープンしました。

島を訪れる観光客と島の産業とを組み合わせることで神島の活性化が図れないかと地元漁業者が話し合いを重ねた結果、島の玄関口に開設されました。

販売されている商品や食事は、神島の特色を取り入れたものが中心で、島を訪れるかたがたの交流拠点として、また休憩場所としても利用されています。